

将来人口メッシュ

(1) 将来人口メッシュの機能と目的

2015年人口および将来人口（2020、2030、2040、2050年）について、総数、増減数、増減率を1kmメッシュ単位でヒートマップにより把握することができます。

また、指定地域（都道府県・市区町村）内のメッシュの分布状況について、度数分布図の形で把握したり、さらには、任意の地域を複数選択して、変化を折れ線グラフで比較することができます。

これらにより、地域における人口分布の今後予想される変化を把握することができます。



- ・国土交通省「メッシュ別将来人口推計（平成30年推計）」



- ・2015年の各メッシュ総人口については、総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」を基に、将来推計人口との比較の観点から補正を行っているため、当該統計数値とは一致しません。
- ・2020年以降の1kmメッシュの将来人口は、2015年の国勢調査等に基づき試算しています。推計方法の詳細は以下を参照してください。
<https://www.mlit.go.jp/common/001286109.pdf>
- ・画面上に表示されるメッシュは、行政管理庁告示第143号「標準地域メッシュ」に準じて作成されています。
- ・標準地域メッシュは、緯度経度によって区切られた区画であり、具体的には下記の定義となります。
- ・1kmメッシュ：緯度30秒ー経度45秒で区切られる区画（一片の長さ約1km）になります。
- ・なお、各メッシュの一片の長さはおおよその数値であり正確に1kmの正方形になりません。
- ・また、地球が球体であるため、南北位置によってメッシュの大きさは若干異なります。



- ・「将来人口メッシュ」画面の表示方法については、「基本的な使い方」を参照

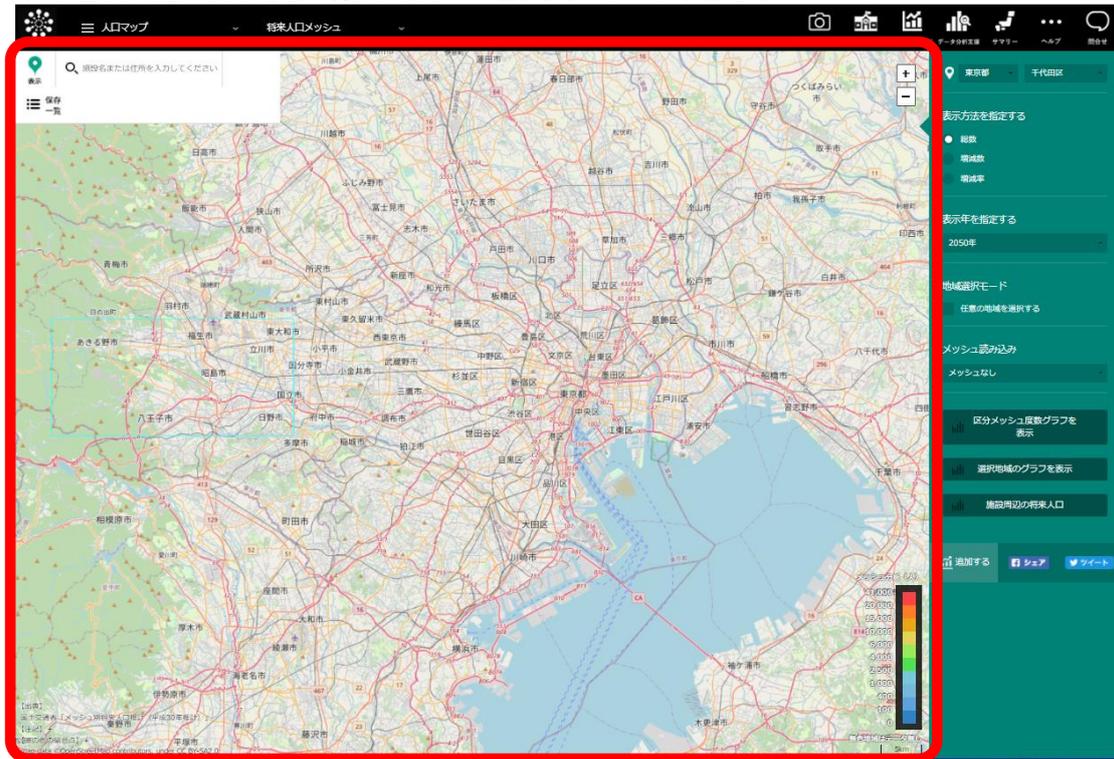


(2) 将来人口メッシュの表示内容

将来人口メッシュでは、「表示年を指定する」、「表示方法を指定する」で選択している内容について、実数の多い地域（または増減率）ほど暖色の濃い色で表示されます。

「指定地域」で選択している都道府県を中心とした縮尺で地図が拡大表示されます。「メッシュを読み込む」をクリックすることで将来人口メッシュ分析結果が地図上に表示されます。また「指定地域モード」で任意の地域を指定して特定地域の将来人口を分析し、表示することができます。

※初期表示項目：表示方法＝総数、表示年＝2050年、メッシュなし



出典



- 国土交通省「メッシュ別将来人口推計（平成30年推計）」

注意

- 2015年の各メッシュ総人口については、総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」を基に、将来推計人口との比較の観点から補正を行っているため、当該統計数値とは一致しません。
- 2020年以降の1kmメッシュの将来人口は、2015年の国勢調査等に基づき試算しています。推計方法の詳細は以下を参照してください。
<https://www.mlit.go.jp/common/001286109.pdf>
- 画面上に表示されるメッシュは、行政管理庁告示第143号「標準地域メッシュ」に準じて作成されています。
- 標準地域メッシュは、緯度経度によって区切られた区画であり、具体的には下記の定義となります。
- 1kmメッシュ：緯度30秒—経度45秒で区切られる区画（一片の長さ約1km）になります。
- なお、各メッシュの一片の長さはおおよその数値であり正確に1kmの正方形になりません。
- また、地球が球体であるため、南北位置によってメッシュの大きさは若干異なります。

(3) 右メニューの説明

右メニューでは、左のマップの表示内容について設定します。

表示方法を指定する

- 総数
- 増減数
- 増減率

● 表示方法を指定する

- **総数を表示する**
左のマップ上の値を、総数で表示する場合に指定します。
- **増減数を表示する**
左のマップ上の値を、増減数で表示する場合に指定します。
- **増減率を表示する**
左のマップ上の値を、増減率で表示する場合に指定します。

表示年を指定する

2050年

● 表示年を指定する

表示年を選択します。

地域選択モード

任意の地域を選択する

● 地域選択モードを指定する

「任意の地域を選択する」のチェックを入れると、地図上において任意地域を指定することができます。

メッシュ読み込み

メッシュなし

● メッシュ読み込み

メッシュの種類を「メッシュなし」「透過率 50%（薄いメッシュ）」「透過率 80%（濃いメッシュ）」から選択すると、画面で表示されている地図の範囲のヒートマップが、選択した種類のメッシュで表示されます。



- ヒートマップのメッシュは、画面で表示されている地図の範囲だけが表示されます。画面で表示されている地図の範囲を移動した場合は、再度選択するとヒートマップが表示されます。
- ヒートマップは地図で拡大縮小表示することも可能です。



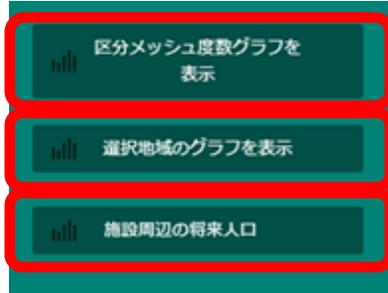
「地域選択モード」についての詳細は、(4)を参照



RESAS

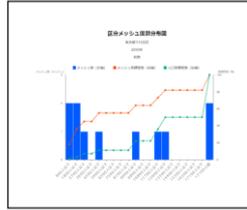
RESAS
地域経済分析システム

将来人口メッシュ



● **区分メッシュ度数グラフを表示**

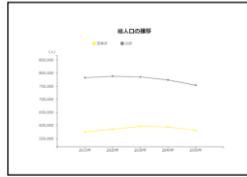
クリックすると、表示内容で選択した内容の分布図の画面に切り替わります。



「区分メッシュ度数グラフを表示する」についての詳細は、(5)を参照

● **選択地域のグラフを表示**

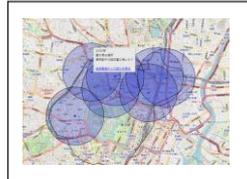
クリックすると、表示内容で選択した内容の推移グラフの画面に切り替わります。



「選択地域のグラフを表示する」についての詳細は、(6)を参照

● **施設周辺の将来人口**

クリックすると、各種施設から任意に指定した距離でカバーされる将来人口の変化を表示します。

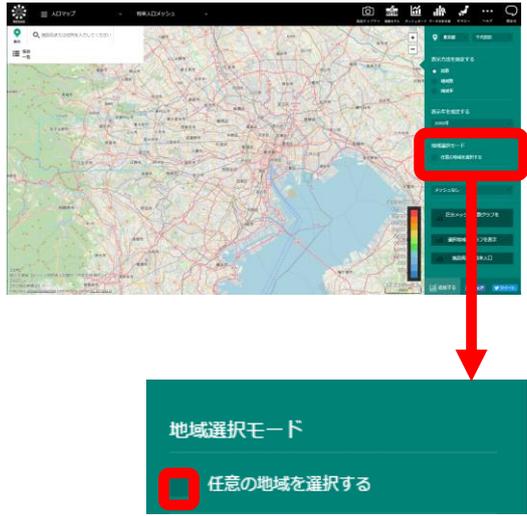
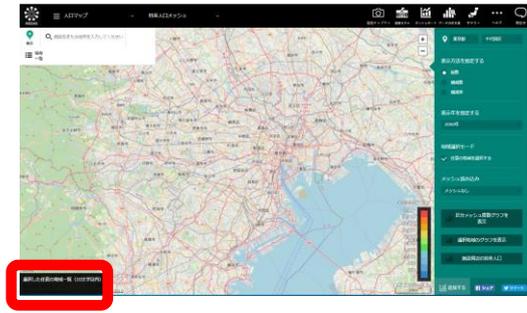


「施設周辺の将来人口」についての詳細は、「施設周辺人口」を参照

(4) 「地域選択モード」での地域の選択

「地域選択モード」で「任意の地域を選択する」のチェックを入れると、マップ上の任意の範囲で地域を選択できます。地域は6ヶ所まで選択でき、任意の名称を付けられます。

ここで地域を選択することにより、選択した地域の推移をグラフで比較できるようになります。

<p>1 右メニューで、「任意の地域を選択する」のチェックを入れます。</p>	
<p>2 「地域選択モード」になります。</p>	

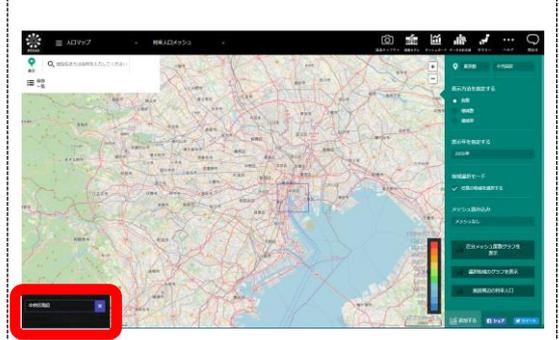


3

マップ上の任意の位置でマウスをクリックし、選択したい範囲と大きさになるようにドラッグすると、選択枠（カラーが自動的に割り振られます）が表示されます。

マウスを離すと選択枠が固定されます。

画面左下に「選択した任意の地域一覧」のポップアップが表示され、選択した任意の地域に名称を入力することができます。



4

ポップアップの入力欄に名称を入力して Enter キーを押すと、地域が追加されます。



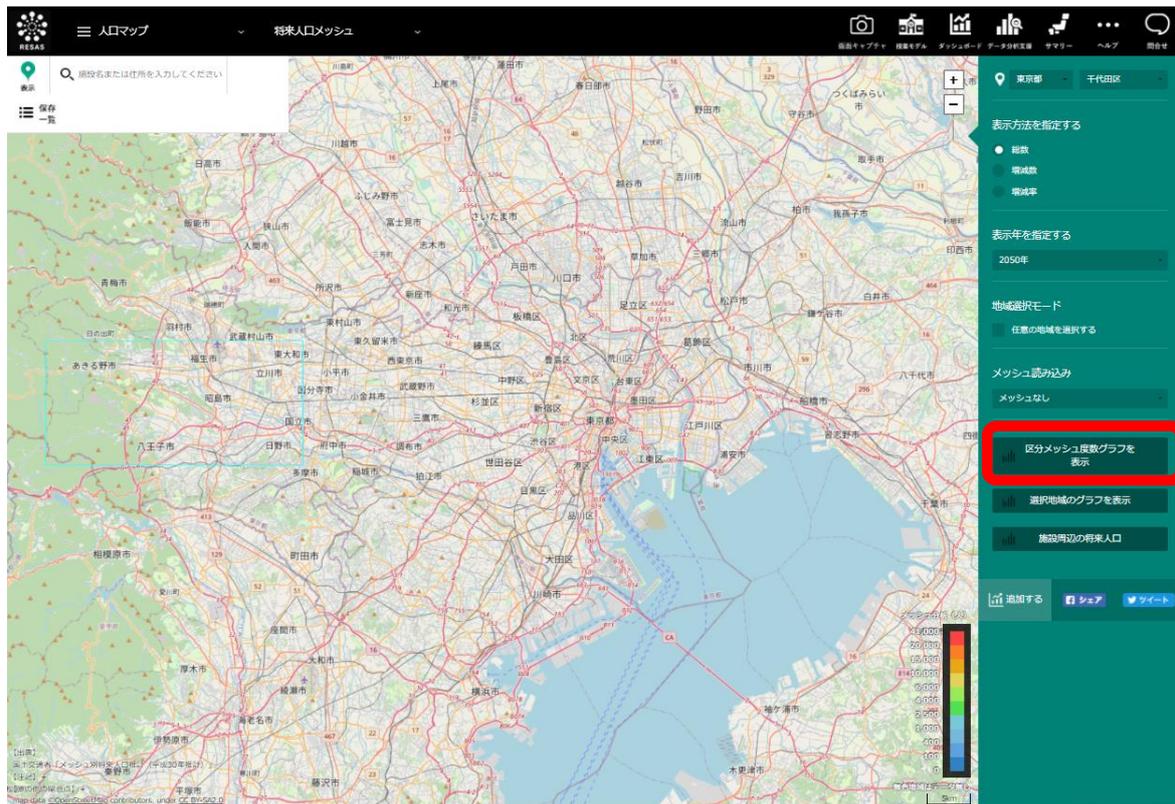
(5) 区分メッシュ度数グラフを表示する

指定した地域（都道府県、市区町村）のメッシュ数及びメッシュ累積度数、人口累積度数についてグラフで見ることができます。

表示方法を選択することで、増減数のグラフに切り替えることができます。

<区分メッシュ度数グラフの表示方法>

右メニューの「区分メッシュ度数グラフ」をクリックします。



➡ 指定した条件の区分メッシュ度数グラフが表示されます。



- 国土交通省「メッシュ別将来人口推計（平成30年推計）」



- 2015年の各メッシュ総人口については、総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」を基に、将来推計人口との比較の観点から補正を行っているため、当該統計数値とは一致しません。
- 2020年以降の1kmメッシュの将来人口は、2015年の国勢調査等に基づき試算しています。推計方法の詳細は以下を参照してください。
<https://www.mlit.go.jp/common/001286109.pdf>
- 画面上に表示されるメッシュは、行政管理庁告示第143号「標準地域メッシュ」に準じて作成されています。
- 標準地域メッシュは、緯度経度によって区切られた区画であり、具体的には下記の定義となります。
- 1kmメッシュ：緯度30秒－経度45秒で区切られる区画（一片の長さ約1km）になります。



RESAS

地域経済分析システム

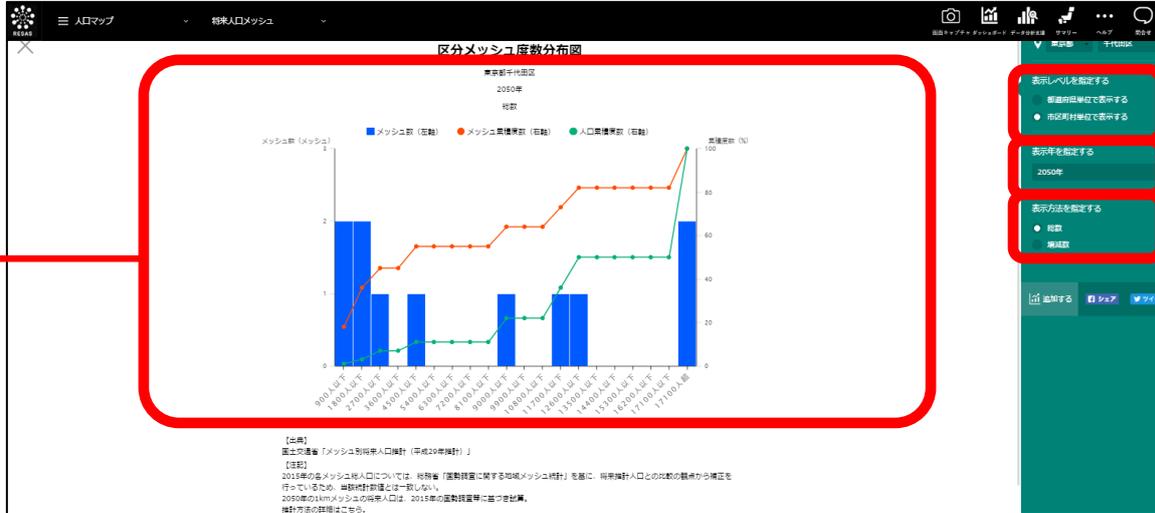
将来人口メッシュ

- なお、各メッシュの一片の長さはおおよその数値であり正確に 1km の正方形になりません。
- また、地球が球体であるため、南北位置によってメッシュの大きさは若干異なります。



<区分メッシュ度数グラフの画面構成>

※初期表示項目：表示レベル＝市区町村単位で表示する、表示年＝2015年、表示方法＝ヒートマップで指定した表示方法



● 区分メッシュ度数分布図

ヒートマップで指定した地域について表示方法で指定された分布図が表示されます。グラフにマウスオーバーするとデータ名称、データ系列のメッシュ数、データ系列のメッシュ累積度数、データ系列の人口累積度数がポップアップで表示されます。

● 表示レベルを指定する

グラフの表示レベルを以下の中から選択します。

- ・ 都道府県単位で表示する
- ・ 市区町村単位で表示する

● 表示年を指定する

グラフに表示する年を選択します。

● 表示方法を指定する

グラフの表示方法を以下の中から選択します。

- ・ 総数
- ・ 増減数

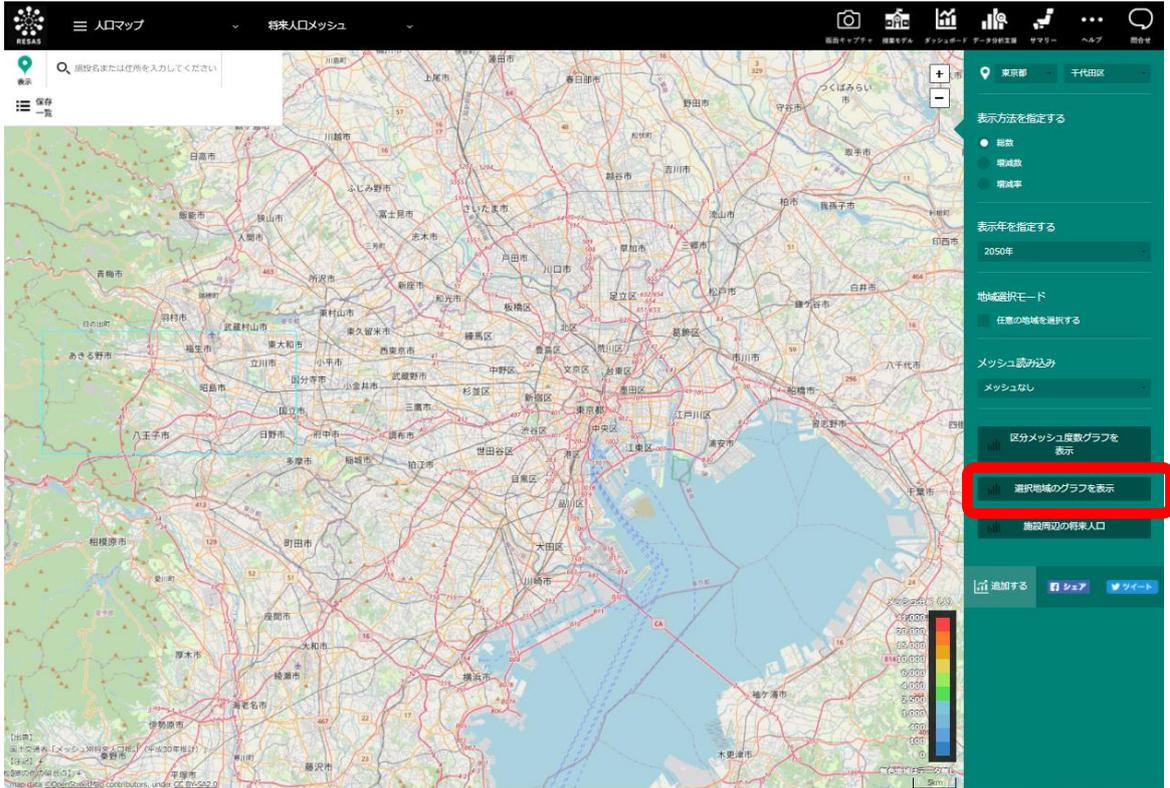


(6) 選択地域のグラフを表示する

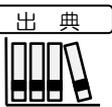
地域選択モードの「任意の地域を選択する」をチェックし、地図上の任意の地域をドラッグすると画面左下に選択した任意の地域一覧が表示されます。10文字以内で任意の名称を入力できます。最大6地域まで設定でき、「地域選択のグラフを表示」をクリックすることで選択地域グラフが表示されます。

＜選択地域のグラフの表示方法＞

右メニューの「選択地域のグラフを表示」をクリックします。



➡ 指定した条件の選択地域のグラフが表示されます。



出典

- 国土交通省「メッシュ別将来人口推計（平成30年推計）」



注意

- 2015年の各メッシュ総人口については、総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」を基に、将来推計人口との比較の観点から補正を行っているため、当該統計数値とは一致しません。
- 2020年以降の1kmメッシュの将来人口は、2015年の国勢調査等に基づき試算しています。推計方法の詳細は以下を参照してください。
<https://www.mlit.go.jp/common/001286109.pdf>
- 画面上に表示されるメッシュは、行政管理庁告示第143号「標準地域メッシュ」に準じて作成されています。
- 標準地域メッシュは、緯度経度によって区切られた区画であり、具体的には下記の定義となります。
- 1kmメッシュ：緯度30秒—経度45秒で区切られる区画（一片の長さ約1km）になります。

- なお、各メッシュの一片の長さはおおよそその数値であり正確に 1km の正方形になりません。
- また、地球が球体であるため、南北位置によってメッシュの大きさは若干異なります。



RESAS

RESAS
地域経済分析システム

将来人口メッシュ

< 選択地域グラフの画面構成 >



- 地域選択グラフの表示

ヒートマップで指定した地域について、表示年、表示方法で指定された折れ線グラフが表示されます。

グラフにマウスオーバーすると選択地域名、指定した表示方法で値がポップアップで表示されます。



(7) 施設周辺人口の機能と目的

2015年人口および将来人口（2020年、2030年、2040年、2050年）について、総数、増減数、増減率を1kmメッシュ単位でヒートマップにより表示したうえで、各種施設から任意に指定した距離（100m～10km）でカバーされる人口が、2015年から2050年でどのように変化するかを縦棒グラフで表示します。

この分析により、今後の施設需要の動向を把握でき、まちづくりの検討に活用することができます。



出典

- 国土交通省「メッシュ別将来人口推計」、「国土数値情報」



注意

- 2015年の各メッシュ総人口については、総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」を基に、将来推計人口との比較の観点から補正を行っているため、当該統計数値とは一致しない。
- 本システムで表示される各施設のデータは、原典データを加工したものであり実際の法令の適用の範囲については、利用者各自が再確認するものとする。その他、精度限界・免責事項等の理解と最終消費者までの伝達義務等、「国土数値情報」の利用にあたっては、下記URLの各約款を十分に理解のこと。
<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/yakkan.html>
- 表示する施設は、「国土数値情報」のデータ作成時点に「施設名称」と「所在地情報」が存在している施設で、休館や廃止、移転等、現在の最新の状態を表しているものではありません。



参照

- 施設周辺人口画面の表示方法については、「基本的な使い方」を参照



RESAS

RESAS
地域経済分析システム

将来人口メッシュ

(8) 施設周辺人口の表示内容

施設周辺人口では、「表示する施設を指定する」で選択している施設を中心に、「施設からの距離を指定する」で設定した半径の「円」が表示されます。また、「表示年を指定する」、「表示方法を指定する」で選択している内容について、メッシュを読み込み時に実数の多い地域（または増減率）ほど10段階で暖色の濃い色で表示されます。

「指定地域」で選択している市区町村を中心とした地図が拡大表示されます。「表示方法を指定する」で任意の項目を選択し、「メッシュを読み込む」をクリックすることでメッシュ分析結果が地図上に表示されます。

マップ上の施設マーカーにマウスオーバーすると、年、施設名、住所、「指定範囲の人口変化を見る」ためのリンクが表示されます。

※初期表示項目：表示施設=市役所・区役所、表示年=2050年、表示方法=総数、施設からの距離=1000m



出典



- 国土交通省「メッシュ別将来人口推計」、「国土数値情報」



- 2015年の各メッシュ総人口については、総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」を基に、将来推計人口との比較の観点から補正を行っているため、当該統計数値とは一致しない。
- 本システムで表示される各施設のデータは、原典データを加工したものであり実際の法令の適用の範囲については、利用者各自が再確認するものとする。その他、精度限界・免責事項等の理解と最終消費者までの伝達義務等、「国土数値情報」の利用にあたっては、下記 URL の各約款を十分に理解のこと。
<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/yakkan.html>
- 表示する施設は、「国土数値情報」のデータ作成時点に「施設名称」と「所在地情報」が存在している施設で、休館や廃止、移転等、現在の最新の状態を表しているものではありません。
- 画面上に表示されるメッシュは、行政管理庁告示第 143 号「標準地域メッシュ」に準じて作成されています。
- 標準地域メッシュは、緯度経度によって区切られた区画であり、具体的には下記の定義となります。
- 1km メッシュ：緯度 30 秒－経度 45 秒で区切られる区画（一片の長さ約 1km）になります。
- なお、各メッシュの一片の長さはおおよその数値であり正確に 1km の正方形になりません。
- また、地球が球体であるため、南北位置によってメッシュの大きさは若干異なります。



RESAS

RESAS
地域経済分析システム

将来人口メッシュ

(9) 右メニューの説明

右メニューでは、左のマップの表示内容について設定します。

表示方法を指定する

- 総数
- 増減数
- 増減率

● 表示方法を指定する

- ・ **総数を表示する**
左のマップ上の値を、総数で表示する場合に指定します。
- ・ **増減数を表示する**
左のマップ上の値を、増減数で表示する場合に指定します。
- ・ **増減率を表示する**
左のマップ上の値を、増減率で表示する場合に指定します。

表示年を指定する

2015年

● 表示年を指定する

- 表示年を選択します。
- ・ 2015年、2020年、2030年、2040年、2050年

表示する施設を指定する

市役所・区役所

● 表示する施設を指定する

- ヒートマップに表示する施設を以下の中から選択します。
選択すると、指定した市区町村の施設がマーカー表示されます。
- ・ 市役所・区役所
 - ・ 図書館
 - ・ 体育館
 - ・ 公民館
 - ・ 公園

施設からの距離を指定する

1 0 0 0 m

● 施設からの距離を指定する

- ヒートマップに表示する施設を中心とした円の半径を選択します。
選択すると、指定した半径の円が表示されます。
- ・ 1000 の位
「0,1,2,3,4,5,6,7,8,9,10」
 - ・ 100 の位
「0,1,2,3,4,5,6,7,8,9」
 - ・ 10 の位
「0」
 - ・ 1 の位
「0」

メッシュ読み込み

メッシュなし

● メッシュを読み込む

- メッシュの種類を「メッシュなし」「透過率 50%（薄いメッシュ）」「透過率 80%（濃いメッシュ）」から選択すると、画面で表示されている地図の範囲のヒートマップが、選択した種類のメッシュで表示されます。



- ・ ヒートマップのメッシュは、画面で表示されている地図の範囲だけが表示されます。画面で表示されている地図の範囲を移動した場合は、再度選択するとヒートマップが表示されます。
- ・ ヒートマップは地図で拡大縮小表示することも可能です。



施設の説明は、補足 1 を参照

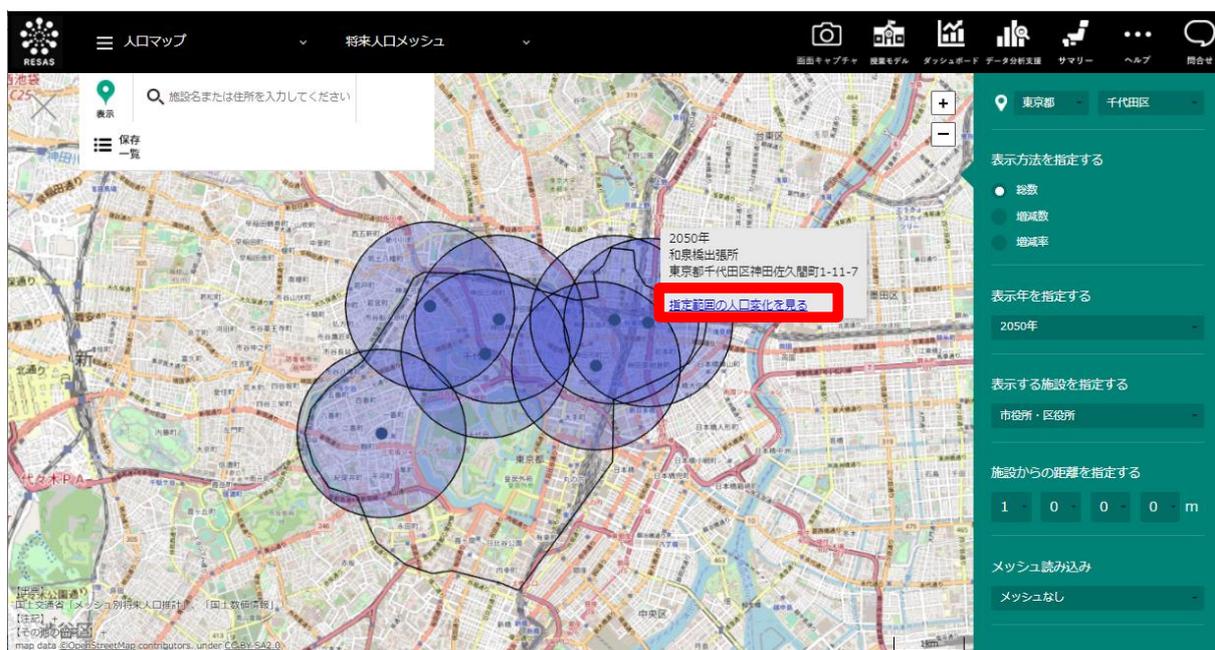
(10)カバー人口グラフを表示する

ヒートマップ上で選択された施設について、「表示する施設を指定する」、「表示年を指定する」、「施設からの距離を指定する」で選択された項目に関するメッシュ上の需要人口総数が表示されます。

選択時に円にかかるメッシュは面積按分して集計されます。

＜カバー人口グラフの表示方法＞

ツールチップに表示されている「指定範囲の人口変化を見る」をクリックします。



➡ 指定した施設のカバー人口グラフが表示されます。



- ・ 国土交通省「メッシュ別将来人口推計」、「国土数値情報」



- 2015年の各メッシュ総人口については、総務省「国勢調査に関する地域メッシュ統計」を基に、将来推計人口との比較の観点から補正を行っているため、当該統計数値とは一致しない。
- 本システムで表示される各施設のデータは、原典データを加工したものであり実際の法令の適用の範囲については、利用者各自が再確認するものとする。その他、精度限界・免責事項等の理解と最終消費者までの伝達義務等、「国土数値情報」の利用にあたっては、下記 URL の各約款を十分に理解のこと。
<http://nlftp.mlit.go.jp/ksj/other/yakkan.html>
- 表示する施設は、「国土数値情報」のデータ作成時点に「施設名称」と「所在地情報」が存在している施設で、休館や廃止、移転等、現在の最新の状態を表しているものではありません。
- 画面上に表示されるメッシュは、行政管理庁告示第 143 号「標準地域メッシュ」に準じて作成されています。
- 標準地域メッシュは、緯度経度によって区切られた区画であり、具体的には下記の定義となります。
- 1km メッシュ：緯度 30 秒－経度 45 秒で区切られる区画（一片の長さ約 1km）になります。
- なお、各メッシュの一片の長さはおおよその数値であり正確に 1km の正方形になりません。
- また、地球が球体であるため、南北位置によってメッシュの大きさは若干異なります。



<カバー人口グラフの画面構成>



● カバー人口グラフ

ヒートマップ上で選択された施設について、「施設からの距離を指定する」で設定された距離にてカバーしている人口変化が年単位で表示されます。

グラフにマウスオーバーすると、年とカバー人口が表示されます。



補足

補足 1 表示施設のうち、「市役所・区役所」「公園」に含まれる施設は次のとおりです。

対象施設	備考	
市役所 ・区役所	本庁（市役所、区役所、町役場、村役場）	
	支所、出張所、連絡所	名称が支所や出張所等となっているもの以外に「行政センター」も含む
	公立公民館	名称が公民館となっているもの、「全国公民館名鑑」に掲載されているもの
公園	近隣公園	主として近隣に居住する者の利用に供することを目的とする公園で近隣住区当たり1箇所を誘致距離 500m の範囲内で1箇所当たり面積 2ha を標準として配置する。
	地区公園 (カントリーパーク)	主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とする公園で誘致距離 1 km の範囲内で1箇所当たり面積 4ha を標準として配置する。都市計画区域外の一定の町村における特定地区公園（カントリーパーク）は、面積 4ha 以上を標準とする。
	総合公園	都市住民全般の休息、観賞、散歩、遊戯、運動等総合的な利用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積 10～50ha を標準として配置する。
	運動公園	都市住民全般の主として運動の用に供することを目的とする公園で都市規模に応じ1箇所当たり面積 15～75ha を標準として配置する。



RESAS

地域経済分析システム

将来人口メッシュ